活動の概要

タイトル

西水沼のどんど焼き

活動の背景や目的、活動内容について（２００字程度）

西水沼地域農地・水・環境保全会のどんど焼きは、平成元年から行われており、西水沼自治会、消防団などの協力の元、多くの地域住民が参加している。高齢化などの理由により、一度は活動が途絶えたものの、子育て世代の親たちから「子どもに味わってもらい、伝統文化を継承したい」との呼びかけがあり、令和２年から活動を再開している。

活動の特徴や地域との繋がりについて（１５０字程度）

どんど焼きは、役目を終えた正月飾りやお守りを燃やし、この火で餅などを焼いて食べると無病息災や家内安全、五穀豊穣を願うことができるとされています。どんど小屋は、西水沼地域農地・水・環境保全会だけでなく、西水沼自治会、消防団などの協力を得ながら作成されており、地域内の様々な組織が参加することで地域コミュニティの活性化に繋がっている。

活動の効果波及について（１５０字程度）

西水沼地域農地・水・環境保全会のどんど焼きは、伝統文化の伝承にとどまらず、地域住民の多世代間交流や協働の機会を創出し、地域内の結束を強める効果をもたらしている。また、子どもたちについても、どんど焼きはもちろんのこと、繭玉作りに参加するなど伝統文化を体験する貴重な環境教育の場にもなっている。

推薦理由（２００字程度）

西水沼地域農地・水・環境保全会のどんど焼きは、西水沼地域の様々な住民が参加しており、地域コミュニティの活性化に大きく寄与している。この活動には多くの子どもたちが参加しており、貴重な環境教育の場にもなっている。少子高齢化が進み、どんど焼きの実施を諦める組織が出てきている中、活動の波及効果などを広く伝え伝承すべく、西水沼地域農地・水・環境保全会のどんど焼きを推薦します。